

NEWS

New hospital of East, West and South medical centers

vol.68



医療情報共有アプリ
NOBORI



Kuwana City Medical Center

2018年4月桑名東・西・南医療センターが1つになり新病院が誕生しました。

Take Free

特集

医療情報共有アプリ NOBORI

三重大学・地域共創展開センターのプロジェクト「北勢サテライト医療DX」がスタートしています。この取り組みは桑名市総合医療センターを三重大学のサテライトとし、様々なDX(デジタルトランスフォーメーション)の実践を行い、その成果を三重県全体に還元していくものです。

今回特集されたNOBORI-PHR^(*)は北勢サテライト医療DXの最初の事業で、ご自身のスマートフォンで、桑名市総合医療センターで行われた血液検査の結果やレントゲン画像、処方、次回の予約などを確認することができるようになりました。また、手続きしていただくと1台のスマートフォンでご自身だけでなく、お子さんやご家族のデータも見ることができます。

*1 パーソナル・ヘルス・レコードの略。個人の健康・医療・介護に関する情報のことをさす。

NOBORI 活用例



三重大学病院でもこのシステムを今年度中に使えるように準備を進められており、検査結果などを一つのアプリ上でまとめて見ることができるようになります。

かかりつけのお医者さんに検査結果を見せるのにも役立ちます。

さらに、このアプリがあると医療費の後払いができるようになるため、診療や検査が終わってからの会計時間が長くなる場合には、会計を待たずにお帰りいただくことができます。

当センター DX 取り組みについて

新しい未来の共創に関する協定を締結

桑名市総合医療センター、桑名市、三重大学の3者が2022年3月末に協定を結び、医療・検診や予防などの領域でのデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進することとなりました。三重大学は、県内の各地域と協働して、社会的インパクトのある成果を創出するため、同年4月に「地域共創展開センター」を設立し、同年11月に一つの取り組みとして「桑名医療DXプロジェクト」が認定されました。



(左から) 伊藤学長(三重大)、伊藤市長(桑名市)、竹田理事長

こんなことに取り組んでいます

- 患者さんのスマートフォンと電子カルテを連携→次ページからの特集をご覧ください
- 遠隔医療とオンライン診療の推進
- AI(人工知能)を活用した診断支援
- 三重大学と当センターをモデルとした医療DXを県内他病院に拡大

卓球珈琲 とDX

桑名市では、ネスレ日本株式会社などと連携して、城南まちづくり拠点施設に卓球カフェを開設しています。この取り組みは、利用者の健康状態の把握と、地域交流や健康づくりを目的とした、官民連携のプロジェクトです。桑名市総合医療センターでは、三重大学の協力をいただき、卓球カフェの参加者に腕時計型の心電図レコーダー(ウェアラブル端末)を貸し出し、健康状態をチェックする取り組みを行いました。



自分の心電図をスマートフォンで見ることができます。

(注)心電図レコーダーの貸し出しは令和5年8月で終了しました。

次のページから NOBORI の利用方法をご案内!

新しい医療のカタチ

自分の健康を自分で管理していく。
ここから、わたしと病院との新しい
対話が始まる。



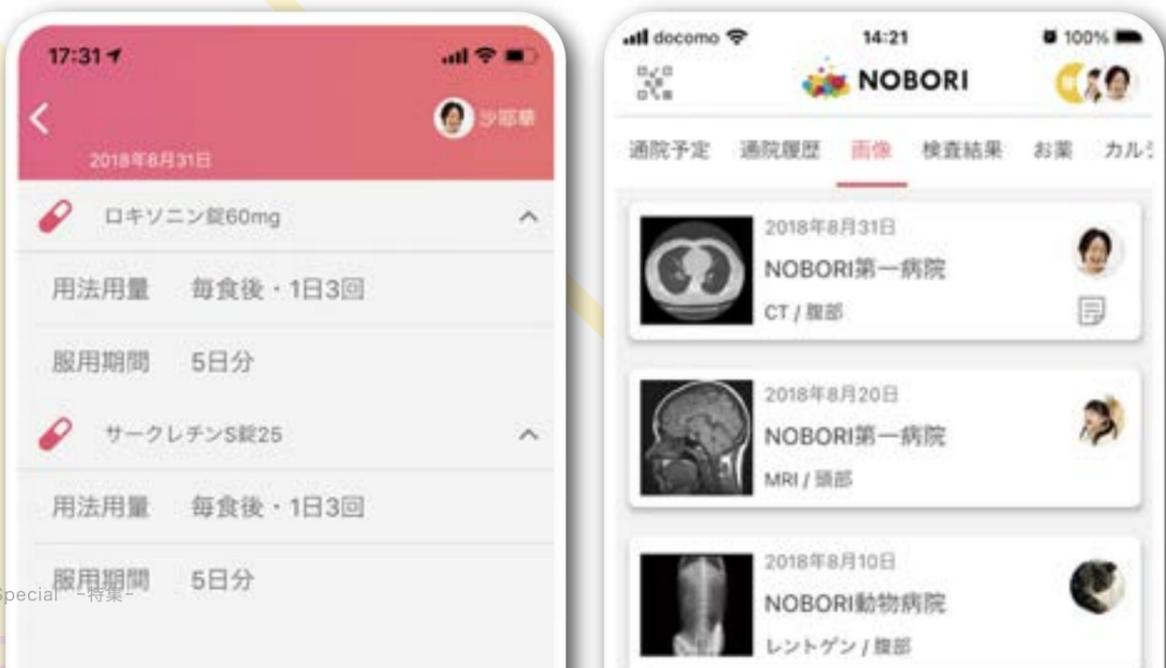
当センターでは、画像や検査結果、お薬などの医療情報を
スマートフォンアプリ「NOBORI」を使っていつでもご覧いただけるサービスを開始しました。

NOBORI

で出来ること

1 お薬や血液検査の結果を管理

直近一年分の検査結果・画像や、処方されたお薬の情報をスマートフォンで見ることができます。



2 健診・人間ドックの結果を参照

直近1年間に当センターで受診した健診・人間ドックの結果を見ることができます。



3 通院履歴・予約情報の確認

当センターの通院履歴や、診療・検査の予約をご確認いただけます。



予定日が近づくと、受診予定の
お知らせを受け取ることができます。



NOBORI



の便利な使い方

家族の情報を共有

お子様やご高齢のご両親、遠方にお住いのご家族などと医療情報を共有することができます。
ご自身が当センターに受診していない場合でも、ご家族の医療情報を見ることが可能です。

- ・「設定」 → 「家族を追加」をタップ
- ・「ユーザーを新しく作成する」をタップ
- ・「ホーム」 → 「来院登録」をタップ
- ・「医療機関を追加」をタップ。「桑名市総合医療センター」、ご家族を選択して、登録。

承認手続きを行うため、ご家族の診察券を持って
当センター3階の総合案内窓口(平日8:30~17:00)にお越しください。



かかりつけ医に確認してもらう



かかりつけのクリニックの先生にスマートフォンの画面を見せることで、当センターでの採血結果や画像等を確認してもらうことができます。



緊急・災害時に活用

救急時や災害時などに、ほかの医療機関を受診する際にも医療情報が共有でき、継続性のある医療サービスを受けることができます。また処方されている薬の情報がいつでも確認できるので、他の病院にかかった際も安心です。



マイナンバーカードと連携

マイナンバーカードをお持ちの方が利用できるマイナポータルから、「予防接種情報」「特定健診情報」「薬剤情報」「医療費情報」「妊産婦・乳児・幼児健康診断情報」を取得し確認することができます。

NOBORI

の登録方法

STEP1》アプリケーションをインストール



STEP2》桑名市総合医療センターを登録



- 1) 画面右下の「設定」をタップ
- 2) 「医療機関を追加」をタップ
- 3) 「桑名」と入力し、
桑名市総合医療センターを選択



STEP3》病院窓口で本人確認

スマートフォンと電子カルテを連携させるため、当センターの総合案内窓口で本人確認を行っていただく必要があります。
本人確認は診察券にて行います。窓口にお越しの際はご持参ください。
お手数ですが、平日8:30~17:00に3階総合案内にお越しください。



よくあるご質問

Q.NOBORIの利用料はかかりますか？

A.利用料（無料プラン）はかかりません。

スマートフォン等を利用される際の通信料金のみご負担いただく形になります。
ただし、有料プラン（1年以上前の医療情報を参照できる）を利用される場合は、月額100円の利用料がかかります。

Q.NOBORIをインストールしたのに自分の医療情報を見ることができません。

A.平日 8:30～17:00 に診察券を持って3階総合案内にお越しください。

スマートフォンと電子カルテを連携させるため、当センターの総合案内窓口でご本人確認を行っていただく必要があります。

Q.NOBORIアプリの使い方がよく分かりません。

A.アプリに関してご不明な点がありましたら、こちらをご覧ください。

「NOBORI よくあるご質問」で検索 →



Q.NOBORIは他の医療機関でも使えますか？

A.NOBORIと連携している医療機関であれば、全国で使えます。

ただし、利用できるサービスの範囲は医療機関によって異なります。

2023年12月11日(月)から運用スタート!

医療費後払いサービス

事前に登録していただいたクレジットカードから医療費の引き落としを行うことで、会計待ちをせずに帰宅していただける機能です。



※クレジットカードの登録が必要です。

診察の順番をお知らせ

待合室の診察順番の画面内容をスマートフォンで見ることができます。



With you 医療人



臨床工学技士とは

近年、医療は高度化・多様化の一途を辿っています。そのような医療現場で医療機器のスペシャリストとして活躍するのが臨床工学技士です。医師の指示の下、生命維持管理装置（補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置）の操作を行い安全かつ質の高い医療の提供に努めています。また、医療機器を常に安心して使用できるように保守点検を行い、医療現場における安全の確保と医療機器の有効活用に貢献しています。

臨床工学室の取り組み

臨床工学室は21名の臨床工学技士と1名のクラークで構成されており、その内2名は臨床検査技師のダブルライセンスを取得しています。また各部門の専門認定資格の取得や関連学会およびメーカー講習会、医師の業務負担軽減のためのタスクシフト研修への参加や部署内でも定期的に勉強会を行うなど医療機器安全管理のために、自己研鑽に努めています。

臨床工学室 副室長 小崎 健司



専門・認定資格

血液浄化専門臨床工学技士/呼吸治療専門臨床工学技士/心血管カテーテル関連専門臨床工学技士/不整脈治療関連専門臨床工学技士/手術関連専門臨床工学技士/内視鏡関連専門臨床工学技士/認定医療機器管理臨床工学技士/認定集中治療関連臨床工学技士/認定実習指導者/体外循環認定士/ITE心血管インターベンション技師/植え込み型心臓デバイス認定士/呼吸療法認定士/透析技術認定士/腎代替療法専門指導士/消化器内視鏡技師/第1種ME技術者/第2種ME技術者/小腸カプセル内視鏡読影支援技師/医療機器情報コミュニケーター (MDIC)

循環器業務

心血管カテーテル検査および治療時における関連機器の操作や人工肺とポンプを用いた体外循環による治療 (ECMO)、大動脈内バルーンポンピング (IABP) の準備やデバイスの管理などを行っています。また、ペースメーカーの植え込み時のプログラミングやアナライザーの操作、遠隔モニタリング業務、各種チェック業務も行っています。

カテーテルアブレーション業務では、カテラボ装置やステミュレーター、3Dマッピング装置 (CARTO) の操作も行っています。



心臓カテーテル室

透析業務

人工透析室には52床の透析装置があり、外来・入院患者さんの維持透析を中心に、緊急時の血液透析や各種アフエーシス (血液成分の分離)・吸着療法を行っています。

臨床工学技士は装置の操作・管理から患者さんへの穿刺やシャント管理などの治療全般に対応し、患者さんが安全に透析室で治療を受けられるよう日々努めています。

人工透析室



手術室



手術室業務

手術室で使用される医療機器は年々増加し、より高度になっています。手術室には昨年度導入したロボット支援下手術装置「da Vinci」をはじめ、数多くの医療機器があります。これらを正確に使用し、安全な手術が提供できるよう、機器準備、操作介助、トラブル対応、保守点検などを行っています。

機器管理業務

機器管理室 (ME室) では輸液ポンプやシリンジポンプ、人工呼吸器などの医療機器の中央管理を行っています。

中央管理によって集約された医療機器は臨床工学技士によって点検や修理といった保守管理を適切に行い医療機器の安全な運用に尽力しています。

また、集中治療室では医師の指示にて持続緩徐式血液透析濾過 (CHDF) や体外式模型人工肺 (ECMO) の実施・管理を行っています。

機器管理室



消化器内視鏡・脳血管カテーテル業務



内視鏡検査

内視鏡検査時のスコープの準備、内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) や内視鏡的逆行性胆道膵管造影 (ERCP) などの治療介助や、小腸・大腸カプセル内視鏡、ラジオ波焼灼術 (RFA) の機械操作などを行っています。

また、脳梗塞や脳出血、頸動脈ステント留置術などの血管内治療時に血栓吸引回収機器、INVOS (脳オキシメーター)、IVUS (血管内超音波) の機械操作や各種治療デバイスの準備などの外回り業務を行っています。

緑内障は 早期発見と 治療の継続

緑内障という言葉は最近よくCMでも流れていますからご存知かもしれません。日本において最も多い失明の原因とされており、40歳以上の20人に1人がかかるといわれる病気です。



眼科
築留英之 医師

緑内障は目から入ってきた情報を脳に伝達する視神経が障害され、見える範囲(視野)が狭くなる病気です。初期症状はあまり無く、気がつかないうちに視野が狭くなっていき、症状が出る頃には末期という事も少なくありません。そのため早期に発見することが大切です。

治療は目薬を使って眼の硬さ(眼圧)を下げ、視野を悪化させないようにします。1~4種類の点眼を1日1~3回、毎日継続することは大変です。そして早期発見しても点眼や通院を中断してしまうと病気が進行する事がありますので気をつけて下さい。



視野の悪化を食い止められず、失明してしまう可能性がある場合は眼圧を下げる手術が必要になります。この手術はこれ以上病状を悪化させないために行うもので、白内障手術とは異なり、良く見えるようにはならず、あまり嬉しい手術ではありません。あくまでも目標は現状維持です。しかし、手術直後は出血や炎症などで術前より見づらくなる場合があります。また1回すれば終わりではなく、複数回の手術が必要になることがあります。

最近は様々な治療法が発表され、以前の治療では救えなかったような患者さんも救う事ができるようになっています。しかし緑内障の手術をしなくてはいけない状態にまで進行するとご本人もご家族も大変です。早期発見、点眼治療継続を心がけ、高齢になってもクッキリと見える状態を保てるよう心がけましょう。



Pick UP

主な取り組み

元気に長生き！を目指す 心臓リハビリテーション



心臓リハビリテーション(心臓リハビリ)とは、心筋梗塞や心不全などの心臓病の患者さんが、体力を回復し、快適な生活や社会復帰、再発や再入院を予防することを目的とした総合的活動プログラムです。内容として、運動療法や生活指導(食事、服薬、禁煙)、相談(カウンセリング)などを含みます。心臓リハビリを行うことで、生活の質が改善し、毎日をより快適に過ごすことができるようになります。

心臓病は生活の中で進行、増悪すると言われています。心臓病での入院を予防することは、患者さんやご家族の生活を守ることに繋がります。まずは、ご自身の病気について知っていただき、病気との向き合い方を一緒に考えていきます。



心臓リハビリの効果

- 運動能力や体力の向上により、日常生活における心不全の症状(息切れなど)が軽減される
- 筋肉量が増えることで、楽に動けるようになり、心臓への負担が軽減される
- 心臓の機能が向上する ● 血管が広がりやすくなり、身体の血液循環が良くなる
- 動脈硬化が進みにくくなり、既存の動脈硬化性プラーク(血管の壁の盛り上がり)が小さくなる
- 血管が広がることで高血圧が改善する ● インスリンの効きが良くなることで血糖値が改善する
- 自律神経が安定することで、不整脈の予防につながる

これまでの研究によって「心臓リハビリ」の効果は多岐にわたって証明されています。具体的には、虚血性心疾患(心筋梗塞や狭心症)の患者さんが心臓リハビリを行うことにより、行わなかった場合に比べ、心血管病による死亡率が26%低下し、入院のリスクが18%低下します。また心不全の患者さんが心臓リハビリを行うことにより、行わない場合に比べ、あらゆる疾患による入院が25%減少し、また心不全による入院が39%減少することが証明されています。



※「日本心臓リハビリテーション学会ホームページ」引用

心臓リハビリに参加することで、生活の質(Quality of life)が改善し、毎日をより快適に過ごすことができるようになります。

**新入職員を対象とした
防災訓練を行いました**

5月25日

新入職員を対象とした防災訓練を実施しました。訓練では、消火器の使い方を学び、エアストレッチャーを実際に使用しての搬送訓練などを行いました。また、普段見ることの出来ない、非常用発電装置などの見学も行いました。



『生命の駅伝』が開催されました

5月15日

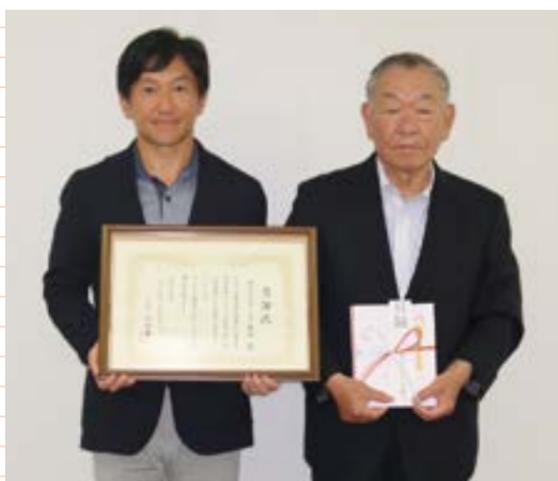
生命の駅伝は、がん研究の重要性を伝え、その研究を支援するための募金活動を目的に「EKIDEN for LIFE(生命の駅伝)の会」が主催し、今年で29回目となりました。5月15日から12日間にわたり、県内全域を駅伝形式で訪問し、募金箱を回収しながら走りました。



**株式会社キング観光より
寄付をいただきました**

7月3日

株式会社キング観光(権田清代表取締役社長)より、ご寄付をいただきました。職員を代表して竹田理事長より感謝状を贈呈させていただきました。



院内保育園夏祭り

7月19日

院内保育園で夏祭りを開催しました。園児は元気いっぱいに取り組んでいました。また、当センター医師でありプロの歌手でもある結里花(矢原医師)が生歌を披露してくれました。当日は「アナと雪の女王」や「花火」を披露し、園児もノリノリに踊っていました。

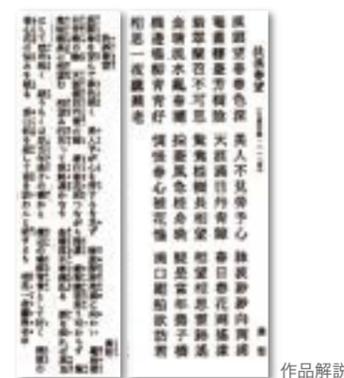


Gallery ギャラリー } 絵画等がたくさん飾られているのはご存知ですか？

院内には、寄贈いただいた絵画などがたくさん飾られています。Galleryでは、竹田理事長による作品紹介をシリーズで掲載しています。いろいろな作品がありますので、来院の際にはぜひ本物を探して、お楽しみください。

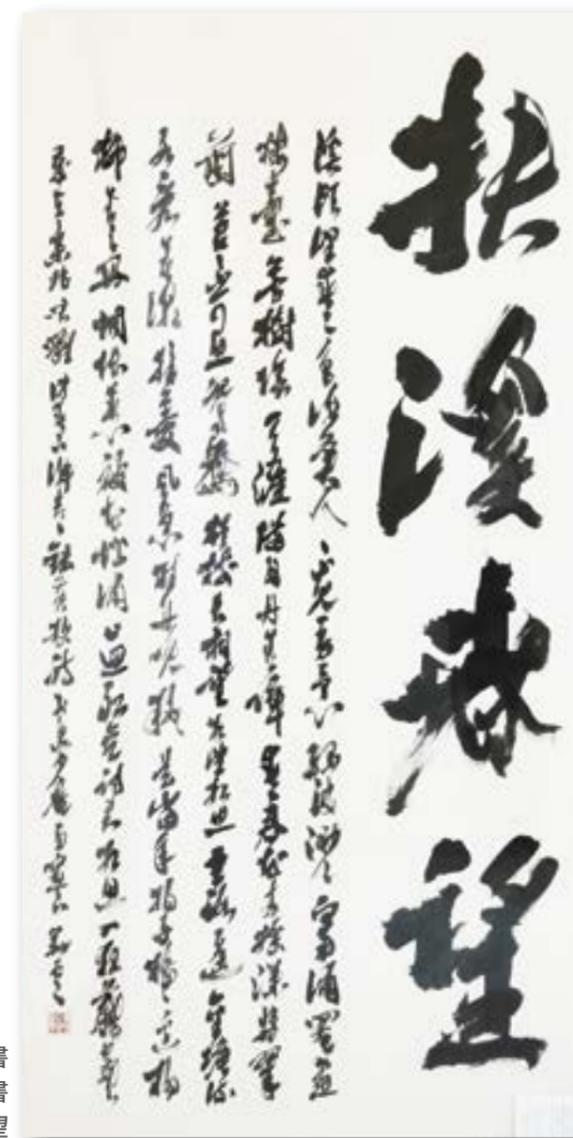
鬼頭翔雲先生は1947年愛知県生まれ、現在松阪市在住。中部地区を代表する書道家で日展会員(審査員)。日展特選2回、入選35回。改組された日展の審査員を二度務められました。松阪市ゆかりの芸術家で日展審査員を任じられたのは、日本画の宇田荻郎(てきぞん)先生だけだそうです。ほかに読売書法会常任理事・審査員、全日本書道連盟理事、中部日本書道会名誉副会長、魁星書法会主宰などの要職に就かれ、平成3年には三重県文化奨励賞を受賞されました。

書は黄哲の漢詩「扶溪春望」を揮毫したもので、扶溪とは、中国広東省にある景勝地。春たけなわの溪谷の色鮮やかな美しさと、そこに佇む麗人に想いを寄せる気持ちが詠われています。紙でなく絹本に書かれています。先生の書風は、力強くおおらかで、どこことなく温かさがあり、先生の明るく気さくなお人柄がそのまま表れています。私にとっては30年以上の人生とお酒の師匠で、今回新病棟の完成を記念して揮毫していただきました。



作品解説

鬼頭翔雲書
扶溪春望雲書
扶溪春望



新理事長の部屋から電子書籍になりました。

四季の草花よもやま話～病院待合室の雑記帳～

当センターHPにて令和2年、3年に連載されました随想21篇をまとめた単行本「新・理事長の部屋から」(三重大学出版会)が、「四季の草花 よもやま話～病院待合室の雑記帳～」(22世紀アート社)とタイトルを改め電子書籍となりました。

Amazon(Kindle)でお買い求めいただけます。





一緒に働きませんか？

STAFF募集中

助産師

正規職員・臨時職員

看護師

正規職員

認定看護師

正規職員

薬剤師

正規職員

介護福祉士

正規職員・臨時職員

看護助手

臨時職員

歯科衛生士

期限付臨時職員

医療事務

臨時職員

視能訓練士

臨時職員

臨床工学技士

期限付臨時職員



詳細については
WEBをご覧ください。

お問い合わせ先

桑名市総合医療センター 総務課

TEL: 0594-22-2015